

# 第 93 回 縮小社会研究会



日時 2026 年 1 月 21 日 19 時～21 時

場所 オンライン開催

<https://us02web.zoom.us/j/85082638986>

ミーティング ID: 850 8263 8986

韓国では、学校給食の無償化、有機食材提供、自校調理など画期的取り組みが行われていることが日本でも知られるようになりました。人によっては、日本より 20 年進んでいると発言しています。国レベルで変革するのは重要ですが、時間もかかります。地域レベルだと、もう少し手の届くところにあるのではないのでしょうか。福島県喜多方市熱塩加納地区では、農家と住民が先導して 30 年以上にわたって有機学校給食が提供されてきました。喜多方市全体でも前々市長のリーダーシップによって、小学校 5 年生を中心に農業科が市内の全小学校で実施されるなど、成果をあげてきました。今回は、韓国の中から、全羅北道群山市における学校給食、フードプランや食料統合支援センター、そしてローカルフード運動の歴史と現状、そして展望についてお聞きします。地域に根づいた韓国の活動はどのようにして、地域課題を乗り越えているのでしょうか。日本でも足元から地域を変える展望についてお話ししましょう。

## 地域から変わる、足元から変える

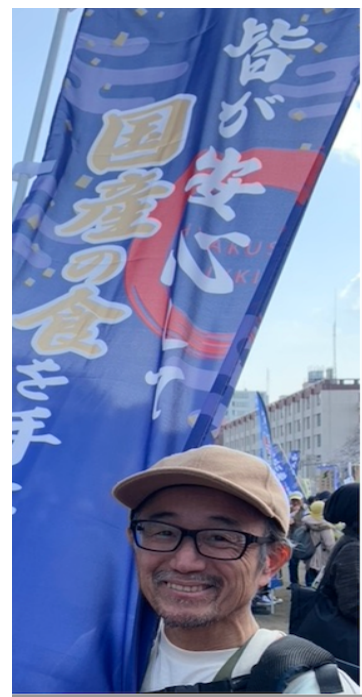
### ～韓国と日本の学校給食と食農教育を事例として～

講師と講演内容：

田中博氏（韓国草の根塾）、  
「韓国の学校給食と地域での  
取り組み～全羅北道群山市の  
事例を中心に」（写真左）



長谷川浩氏（当会理事）、  
「福島県喜多方市における有  
機学校給食と小学校農業科の  
取り組み」（写真右）



参加費：会員は無料、非会員は 500 円

参加登録：非会員の方は当会（下記）まで氏名、メールアドレス、所属を連絡願います。